

地質ニュース

第574号 2002年6月

目 録

ヘリ観測による三宅島2000年カルデラの様子 川邊 禎久・中野 俊・東宮 昭彦・伊藤 順一	1
全島避難から1年半が経過した三宅島 佐藤 努・東宮 昭彦	3
スキャナーによる観察例 須藤 定久	5
三宅島2000年噴火-ヘリ観測編- 川邊 禎久・宮城 磯治 東宮 昭彦・伊藤 順一・中野 俊・高田 亮・宇都 浩三 松島 喜雄・山元 孝広・石塚 吉浩・星住 英夫・濱崎 聡志 佐藤 久夫・斎藤 元治・須藤 茂・栗原 新・浦井 稔 風早 康平・篠原 宏志・石塚 治・下司 信夫・金子 克哉	10
三宅島2000年噴火-酸性雨編- 佐藤 努・中村 太郎・伊藤 順一・高橋 誠	16
地理情報システム(GIS)を利用した地熱資源の評価(アセスメント)新計画 茂野 博・阪口 圭一	24
スキャナーによる岩石類の観察 須藤 定久	46
消えたダイヤの秘密“インドネシア白亜紀付加体地質紀行-南カリマンタン編” 脇田 浩二	53
化石レプリカをつくらう-青少年のための科学の祭典・茨城大会日立会場参加報告- 利光 誠一・谷田部信郎・松江千佐世・河村 幸男・川畑 晶 吉田 朋弘・中澤 努・坂野 靖行・兼子 尚知・中島 礼	68
お知らせ 地質標本館夏の行事予定	23
新刊紹介 タービダイトの話(地質ニュース復刻版) 中嶋 健	70
編集後記	71

表 紙

三宅島2000年カルデラ北東壁に露出するスオウ穴火口の断面：三宅島2000年噴火で形成されたカルデラのカルデラ壁には、三宅島火山内部断面が露出している。北半には主に降下火砕物からなる主成層火山の断面が、南半には溶岩流を主体とする八丁平カルデラ埋積堆積物が露出する。表紙はカルデラ壁北東部に露出する、9世紀の側火口であるスオウ穴火口の断面、主成層火山の降下火砕物とアグルチネートを切って、じょうご状に開いたマグマ水蒸気爆発火道が見える。スオウ穴火口には噴火後水がたまり、池を作っている。スオウ穴火口は径約300m。
(写真と文：川邊 禎久)

 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

Geological Survey of Japan / AIST

☎305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 0298-61-3754

Fax. 0298-61-3569

<http://www.gsj.jp/>